

TAMA CINEMA 通信



TAMA CINEMA FORUM

TAMA映画フォーラム実行委員会 〒206-0025 多摩市永山1-5 ベルブ永山(永山公民館内)
代表:042-337-6661 直通:080-5450-7204 <http://www.tamaeiga.org/>

特別上映会 5/7 日付 **ベルブホール** (ベルブ永山 5F 京王永山駅・小田急永山駅下車徒歩約2分)

エール!

(エリック・ラルティゴ監督)

上映スケジュール

- ① 10:30 — 12:15
- ② 13:00 — 14:45
- ③ 15:30 — 17:15
- ④ 18:00 — 19:45

チケット

前売 大人 (中学生以上) **1,000円**
 当日 大人 (中学生以上) **1,200円**
 子ども (4歳~小学生) **600円**

(TAMA 映画フォーラム支援会員、障がい者と
その付添者 1名は当日 600円です)

- * 全席自由席・各回入替制
- * 開場は各回 15分前
- * 上映時間は変更になる場合があります。

日本語字幕つき(劇場公開版)上映



届け! 心のまんなか。

© 2014-Jerico-Mars Films-France 2 Cinema-Quarante 12 Films-VendOme Production-Nexus Factory -Umedia

「エール!」って?
 Air(仏語): 曲
 Aile(仏語): 翼
 Yell(英語): 応援

『エール!』について

この作品は本国フランスで公開時に4週連続 No.1、観客を笑いと涙で包みこみ、最終的には750万人以上動員の大ヒットを記録した作品です。また主演のルアンヌ・エメラは本作がスクリーンデビューにも関わらず、見事セザール賞(フランスにおける米アカデミー賞にあたる)とリュミエール賞(パリ在駐の約50ヶ国を代表するジャーナリスト約200人によって選ばれる)で最優秀新人女優賞を受賞しました。

日本では昨年開催のフランス映画祭2015 オープニング作品として上映され、最高賞の観客賞(最も観客からの支持が多い)となりました。上映後のエリック・ラルティゴ監督とエメラ氏によるトークショーでは、日本人観客と手話で交流するなど心温まる場面もあったようです。

劇中、主人公のポーラや彼女がひそかに想いを寄せる男の子ガブリエル、コーラス部の仲間が歌うのは1970年代に数多くのヒットを飛ばしたフランスを代表するシャンソン歌手、ミシェル・サルドウの楽曲です。「La Maladie d'amour(恋のやまい)」「La java de Broadway(ブロードウェイのジャヴァ)」など、いずれも名曲ですが、やはり圧巻はポーラがオーディションで歌う「Je Vole(青春の翼)」ではないでしょうか。ポーラの心に響く歌声、ベリエ家の強い絆……。言葉を越えた瑞々しい感動をどうぞお楽しみください。(飯塚)

2014年/フランス映画/105分
 原題: La Famille Bélier
 監督: エリック・ラルティゴ

出演: ルアンヌ・エメラ、カリン・ヴィアール、フランソワ・ダミアン、
 エリック・エルモスニーノ ほか
 配給・提供: クロックワークス、アルパトロス・フィルム

特別上映会特設ページ <http://www.tamaeiga.org/special/air>



今年2回目の特別上映会作品は『A FILM ABOUT COFFEE』。この映画はタイトルの通りコーヒーについてのドキュメンタリー作品です。生産者から提供者そして消費者まで、最高の一杯を求める旅を見せます。

上映当日は、「TAMA CINEMA CAFE」と称して、実行委員手作りの多摩市内オススメカフェマップの掲示と配布、実行委員が持参したコーヒー器具や書籍の展示を行い、実際にコーヒー豆を挽いて会場をコーヒーの香ばしい香りで包みました。

3回目(全4回上映)の上映後には、多摩市聖蹟桜ヶ丘にあるtak beansのオーナー松崎雄大さんを迎えて、特別試飲会&レクチャーを開催。「抽出器具で変わるコーヒーの味わい」をテーマに、円錐形ドリッパー・



ウェーブドリッパー・エアロプレス(金属フィルター)の三種類の抽出器具を使ってコーヒーを淹れて、参加者に試飲して頂きました。淹れている最中から、劇中の浅煎りの豆の話、カップングの話や家で美味しく飲むためのアドバイスなど興味深いお話を沢山して頂きました。

多くの方のご来場ありがとうございました。企画担当だった私がそうだったように、来場したお客様がこの上映会をきっかけにコーヒーをより身近に楽しんで頂けていたら幸いです。(菊池)



TAMA NEW WAVE

第17回 TAMA NEW WAVE コンペティション作品募集開始!

11月末の当映画祭で開催予定の、中・長編作品(30分以上100分以下)を対象としたTAMA NEW WAVE コンペティションの作品募集を開始しました。話題の映画作家を多数輩出し、近年では受賞作品がそのまま劇場公開されるなど、日本映画界の注目を集めているコンペティションです。本年度の募集締め切りは6/24(金)。詳細は公式サイト(<http://www.tamaeiga.org/>)の応募要項をご確認ください。たくさんの応募をお待ちしております!



第16回 TAMA NEW WAVE コンペティション受賞式

受賞作品の劇場公開

- 第15回グランプリ(2014) 『みちていく』竹内里紗 監督(2015年6月公開)
- 第15回特別賞(2014) 『知らない町』大内伸悟 監督(2016年6月公開予定)
- 第14回グランプリ(2013) 『Dressing Up』安川有果 監督(2015年8月公開)
- 第13回グランプリ(2012) 『かしい狗は、吠えずに笑う』渡部亮平 監督(2013年6月公開)
- 第12回グランプリ(2011) 『私の悲しみ』堀内博志 監督(2012年7月公開)
- 第11回グランプリ(2010) 『未来の記録』岸建太郎 監督(2011年5月公開)

第15回特別賞『知らない町』（大内伸悟監督）劇場公開決定！

2016/6/11～7/1、シアター・イメージフォーラム（渋谷）にてレイトショー

当コンペにてゲスト審査員の西ヶ谷寿一プロデューサー（『ディストラクション・ベイビーズ』『私の男』など）と日向朝子監督（『好きっていいなよ。』など）が激賞して、特別賞を受賞した『知らない町』の劇場公開が決まった。

【作品介绍】

主人公は地図調査員の男。彼の住む部屋に、その部屋の“前の住人”だった女が当時同棲していたという男に会いに来てから幽霊騒ぎが起こり、段々と主人公が不思議な世界へと引き込まれていく。謎が幾重にも重なって、町や部屋、物に堆積した過去の時間が、主人公そして観客を“知らない町”へと導く。一般的なストーリーテリングから離れて不思議な世界が徐々に浸食する、未知の驚きと詩的な美しさを備えた作品。要チェック！ 作品HP：<http://unknowntown.com/>



2013年 / カラー / 95分 出演：柳沢茂樹 細江祐子 松浦祐也 富岡大地、ほか 製作・配給：clown film

第15回グランプリ『みちていく』（竹内里紗監督）

4/22よりDVDレンタル、5/3よりDVDセルがスタート

【作品介绍】

女子高陸上部を舞台に、エースとキャプテンの関係を中心に描かれる青春群像劇。思春期特有の心の揺れや人物関係を伝える、見事な動きとカット割の演出が光る。またキャラクターの内面と宇宙を重ねる語り口によって、作品世界に奥行きと普遍性を獲得。

これが大学の卒業制作とは恐るべし！

DVDの特典には、竹内監督の芸大16mm実習作品『感光以前』（15分）が収録されている。



2014年 / カラー / 89分 出演：飛田桃子、山田由梨、鶴田理紗、西平せれな、ほか 販売元：アメイジングD.C.

第14回グランプリ『Dressing Up』（安川有果監督）

6/3 DVD リリース予定

【作品介绍】

幼い頃に亡くなった母に興味を抱いて知ろうとする中学生の女の子が主人公。サスペンスドラマと、特殊造形を駆使したホラー演出のハイブリッド。エンタテインメント性と繊細な心理描写が両立した、見応えのある娯楽作品となっている。

2015年度の日本映画プロフェッショナル大賞新人監督賞を受賞！

2012年 / カラー / 68分 出演：袴キララ、鈴木卓爾、佐藤歌恋、渡辺朋弥、ほか 販売元：アルパトロス



※ 監督インタビューが弊映画祭HPにて公開中です。

『みちていく』竹内里紗監督インタビュー <http://www.tamaeiga.org/feature/interview/001.php>

『Dressing Up』安川有果監督インタビュー <http://www.tamaeiga.org/feature/interview/002.php>

6月特別上映会
6/11(土)
ベルブホール

Happy Hour

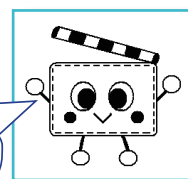
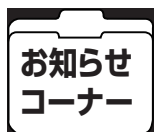
ハッピーアワー
(濱口竜介監督)



© 2015 神戸ワークショップシネマプロジェクト

2015年ロカルノ国際映画祭主演女優賞受賞!
2015年キネマ旬報日本映画ベスト・テン3位!
5時間17分の圧倒的映画体験『ハッピーアワー』がついに多摩で初上映!

市民参加による「即興演技ワークショップ in Kobe」から誕生し、演技経験のない4人の女性たちが国際映画祭で主演女優賞受賞。30代後半を迎えて人生の岐路に立ち、それぞれに切実な悩みを抱える女性たちの心情を丁寧に描き出した本作は、どこにでもいる“普通”の彼女たちと観客が一体になる特別な映画体験が味わえます。昨年末から都心及び全国で話題沸騰中の本作を、ぜひこの機会にご堪能ください!



2016/11/19(土)～11/27(日) 開催予定!

今年もよろしく
お願いします!

現在は映画祭でどんな企画をしようかと案を練っている段階です。
今年の映画祭ではどんな映画が上映されて、どんなゲストが来場するのか。
そして第8回目を迎える日本で一番気の早い(!?)TAMA映画賞はどんな作品・
受賞者に贈られるのか。皆さん、どうぞお楽しみに!

映画祭新実行委員を募集!

TAMA映画フォーラム実行委員会では、第26回映画祭TAMA CINEMA FORUMと一緒に作る実行委員を募集しています。企画・運営などの映画祭の裏側に携わってみませんか?

「上映プログラムを企画したい」、「イベント運営に興味がある」、「広報・宣伝をやりたい」など、映画祭づくりの現場には、あなたの希望に沿って力を発揮できる領域がたくさんあります。また、映画好きやイベント好き、地域の方々など、市民が作る映画祭だからこそその出会いがあなたを待っています。

このたび5/8(日)、6/19(日)に説明会を開催いたしますので、興味のある方はお申込のうえ、ぜひご参加ください。また、日程の合わない方は個別に説明いたしますので、お気軽にご相談ください。

詳細はホームページ
<http://www.tamaeiga.org/> をご覧ください。

支援会員制度のお願い

当映画祭を一緒に支えて頂ける支援会員を募集しています。映画を「観る人、観せる人、創る人」の交流の場づくりを通じた、地域と日本映画界の活性化に向けて、資金面でサポート頂けませんか。ご支援頂いた方には特典をご用意していますので、ぜひご協力をお願い致します。

[支援金寄付 個人会員]

一口1000円

郵便振替番号 00160-5-541123

加入者名 TAMA映画フォーラム実行委員会
(ご不明な点はお問い合わせ下さい)

特典①: 映画祭チラシ送付

特典②: 映画祭パンフレット贈呈

特典③: 特別上映会割引(当日チケットを、
支援会員特別価格に。上映会は2～
8月の間に4～5回開催予定)

※その他特典もご用意する予定です。

TAMA映画フォーラム実行委員会ホームページ www.tamaeiga.org

@tamaeiga (最新情報をフォロー) www.facebook.com/tamaeiga (facebookページに「いいね!」で参加)